

特預金使途の今後の進め方(案)

施策内容		実施スケジュール				特預金 出えん等 概算額
		平成29年度		平成30年度以降		
1. 不法投棄・不適正保管対策への 支援事業の拡充	①不法投棄・不適正保管事案に 関する詳細な調査と対策案の 検討・提案	全国の事案調査 103事案(10台以上の事案)		対策検 討	自治体に向けた対策等の情報発信 改善状況の把握・確認	3億円/5年 (現時点で想定できない 新規大規模事案等へ の対応分2億円含む)
	②自治体に対する研修等ニーズ の調査及び実施	ニーズの把握 (平成28年度から実施)	研修の企画	自治体担当者研修の実施		
	③自動車の不法投棄等に関する 相談窓口の拡充	現状の把握 (平成28年度から実施)	開設準備	窓口拡充		
		自治体向け広報				
3. 自動車リサイクル情報システムにおけるデータセンターの 機能維持のための更新		次期DC 委託 ベンダーの調達 (競争入札)	設計／構築／テスト (平成29～30年度)	現行DCから次 期DCへの切替 (平成31年度)	次期DC運用 (平成31～36年度)	14億円/8年
4. 大規模災害への対応	①災害発生時:番号不明被災 自動車への再資源化預託金等 の預託等	▲定常業務として対応開始(4/1～) ▲南海トラフ地震想定の出えん枠確保 《定常業務としての番号不明被災自動車対応》 頻度は毎年度の新規発生で6回程度を想定				21億円/5年 (うち20億円は特に巨大 な激甚災害発生時の 出えん等に備え、 事前に確保する。)
	②事前対応:災害時における自動車 リサイクルの円滑化に資する情報 提供・協力事業	事例等の調査・整理・分析 調達 → 調査 → 取りまとめ・報告書作成 → 結果共有		手引書・事例集 作成	手引書・事例集 改訂	
		市町村別 被害推計		事例等の調査・整理・地域ブロック協議会 ／連絡会との連携分析		

施策内容		実施スケジュール		特預金 出えん等 概算額	
		平成29年度	平成30年度以降		
自動車リサイクルの更なる発展に向けた理解活動の取組	①情報発信	直ぐに実施できる取組及び取組の改善活動 (ex: Webページ記載内容・コンテンツ等の追加・修正) (取組内容の反映) ↑ ↑ ↑ ↑ 具体的な取組内容の検討 ・ユーザー等の認知度向上、普及啓発に向けた情報発信 ・情報収集活動で得られた内容を整理し、分かりやすく発信・共有 ・情報発信の取組に関する効果検証 (収集した情報を発信) ↑ ↑ ↑ ↑		更なる発展的取組	13億円/5年 (指定法人の事業活動収支の状況をみて、必要に応じて特預金の出えん等の手続きを行う。)
	②情報収集	具体的な取組内容の検討 ・ユーザー等の自動車リサイクルに対する認知・理解状況の調査のトライアル実施 ・自動車リサイクルの現状や実態の変化等を調査内容等の調査のトライアル実施 PDCAサイクルを回しながら発展的な取組を推進			
	③連携促進	(収集した情報を共有) ↓ ↓ ↓ ↓ ・消費者懇談会(ニーズ把握・実績等共有) ・自治体情報共有(ニーズ把握・好事例等共有) ・関係団体懇談会(ニーズ把握・課題等共有) PDCAサイクルを回しながら関係者との情報共有・連携を促進			
6. 再生資源等を活用した自動車に対する再資源化等預託金の割引※	①制度開始に伴う業務	合同会議での了承 制度設計 業務設計 周知 審査 申請受付準備	割引開始予定 (平成30年度以降: 期間10年)	104億円/10年 (割引額総額: 100億円 システム改修費等: 4億円)	
	②自動車リサイクルシステム①の改修	システム改修検討 システム改修実施／検証			

※「6. 再生資源等を活用した自動車に対する再資源化等預託金の割引」については、あらためて合同会議での制度実施についての上承を確認したうえで、特預金の出えん等の準備を開始する。